

成田国際空港の離着陸機による騒音について

土浦市環境保全課

成田国際空港では、平成23年10月20日より、混雑時間帯にA（西側）・B（東側）両滑走路から同時に離着陸することができる同時離着陸方式が導入されています。この方式の導入に伴い、成田国際空港における飛行コースが変更され、離着陸機の一部が土浦市上空を飛行していることから、土浦市内において成田国際空港株式会社が実施した航空機による騒音の実態調査結果について次のとおりお知らせいたします。

- 1 調査期間 平成24年3月25日～平成24年4月4日（11日間）
（このうち成田国際空港株式会社からデータの提供をいただいたのは7日間）
- 2 調査場所 ①土浦市常名町地内（都和南小学校）、
②土浦市天川地内（天川幼稚園隣接地）
- 3 調査期間中の飛行コースについて

平成23年10月20日より運用されている標準飛行コースを表1に示します。調査期間中も同標準飛行コースに基づいて飛行されていました。南風の同時着陸時が実施されたのは3月29日（12:30頃～13:30頃）と3月30日（12:40頃～13:30頃、15:40頃～16:30頃）の2日間でした。3月30日は、天候の都合上、標準飛行コースを外れて飛行する飛行機もありました。

表1 同時離着陸方式導入後の標準飛行コース

風向き	【北風時】	【南風時】
航路図		
離陸機	成田空港を北向きに離陸した航空機のうち、欧州、北海道方面の航空機が上昇途中で土浦市上空（高度：1200m以上）を通過します。	成田空港を南向きに離陸した航空機のうち、欧州、北海道方面の航空機が千葉県九十九里浜沖で北向きに旋回し、土浦市上空を通過します。北風時と比べ離陸からの距離が長くなるため、より高い高度を通過していると思われます。
着陸機	標準飛行コースでは、土浦市上空は通過しません。	混雑時間帯の同時着陸実施の際に西側のA滑走路に着陸する航空機が土浦市上空（高度：1,200m～1,800m程度）を通過します。

4 航空機騒音のうるささ指数 (WECPNL) ※

データの提供をいただいた7日間のうるささ指数は次のとおりでした。

①都和南小学校におけるうるささ指数

都和南小学校の結果を表2に示します。都和南小学校では、同時着陸が行われた3月29日及び30日に成田空港関連の航空機のうるささ指数はそれぞれ47.9WECPNLと47.7WECPNLでしたが、その他の日はほとんど成田空港関係の航空機は観測されませんでした。しかしながら、羽田空港の離着陸機やヘリコプターなどの影響により全ての航空機として評価した場合、45.1~59.3WECPNLとなり、7日間の平均値では54.0WECPNLでした。

表2 都和南小学校における調査日ごとのうるささ指数

都和南小学校	3/25	3/26	3/27	3/29	3/30	4/1	4/2	7日間通算
成田空港関連 (WECPNL)	34.9	30.0	—	47.9	47.7	33.9	29.2	42.6
離陸機数 (北風)	3	1	—	—	—	1	—	5
離陸機数 (南風)	—	—	—	—	—	1	2	3
着陸機数	—	—	—	15	12	—	—	27
全ての飛行機* (WECPNL)	45.1	59.3	51.2	49.9	54.3	47.2	54.9	54.0

②天川幼稚園におけるうるささ指数

天川幼稚園の結果を表3に示します。天川幼稚園は、北風時の離陸機数も多いことから成田空港関連の航空機によるうるささ指数は、都和南小学校と比べ高く41.4~51.7WECPNLでした。最も高かったのは同時着陸が行われた30日で51.7WECPNLでしたが、次に高かったのは北風の離陸機数が多かった3月25日で50.0WECPNLでした。天川幼稚園でも羽田空港の離着陸機やヘリコプターなどの影響もみられ、全ての航空機として評価した場合、49.6~54.1WECPNLとなり、7日間の平均値では52.5WECPNLでした。

表3 天川幼稚園における調査日ごとのうるささ指数

天川幼稚園	3/25	3/26	3/27	3/29	3/30	4/1	4/2	7日間通算
成田空港関連 (WECPNL)	50.0	46.5	43.3	48.7	51.7	45.6	41.4	48.0
離陸機数 (北風)	31	31	23	1	—	6	1	93
離陸機数 (南風)	—	1	2	6	9	22	19	59
着陸機数	—	—	—	15	16	—	—	31
全ての飛行機* (WECPNL)	52.0	54.1	51.3	52.1	53.9	49.6	53.0	52.5

*全ての飛行機には羽田空港の離発着便や自衛隊のヘリコプターなどの騒音が含まれています。

※航空機騒音のうるささ指数 (WECPNL)

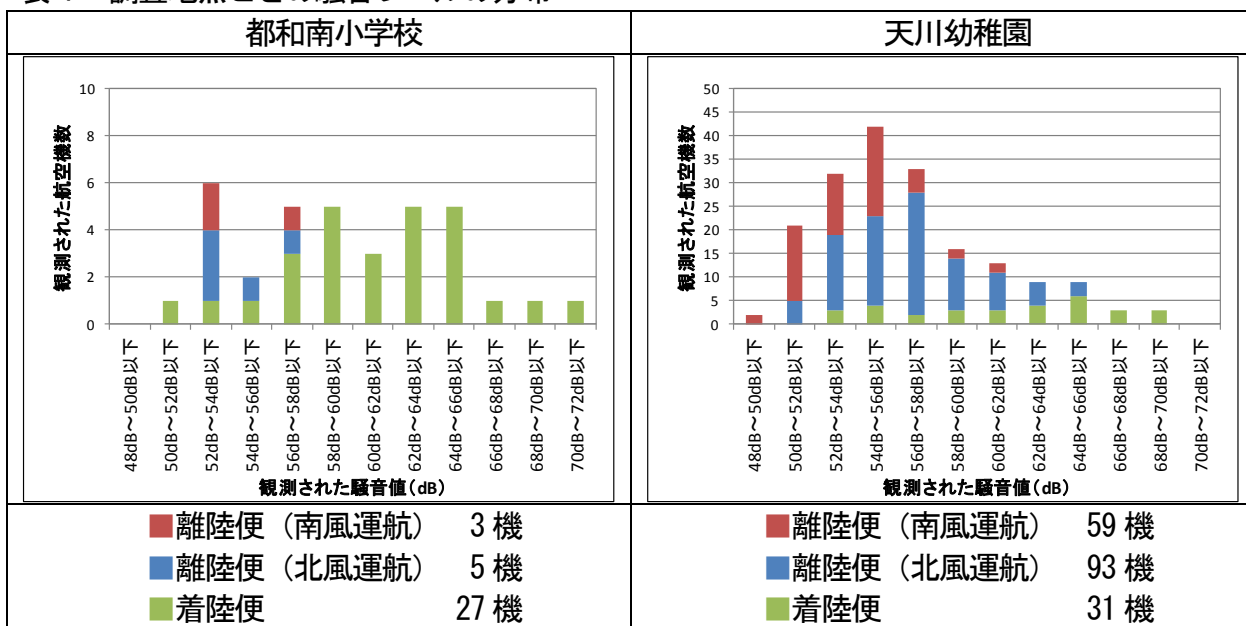
上空を飛んだ飛行機の平均騒音レベルと飛行機の数から算出するうるささの指数。夜(19:00~22:00)に飛んだ飛行機数は3倍、深夜(00:00~7:00, 22:00~00:00)に飛んだ飛行機数は10倍に重みづけをして算出します。

航空機騒音の環境基準は、短期測定では連続7日間の平均値と比較されるもので70 WECPNL以下が目安です。

5 観測された航空機の飛行機数及び騒音レベルの分布

調査期間内に観測した成田国際空港関連の航空機の騒音レベルについて、表4に航空機の経路ごとに騒音レベルの分布を示します。都和南小学校では離陸便の飛行機は全て58dB以下でしたが、着陸便では最大で71.2dBが観測され、58dB～66dBの飛行機が多く観測されました。一方、天川幼稚園では、北風運航時の離陸便の飛行機数が最も多く93機観測され、続いて南風運航時の離陸機59機が観測されました。離陸機は50dB～58dBの航空機が多く観測されました。観測された着陸便数離陸便と比べ少ないものの騒音値は最大で69.5dBでした。

表4 調査地点ごとの騒音レベルの分布



(飛行機が飛んでいない時の騒音レベルより10dB以上高い値のみ集計)

6 飛行コース情報の公開について

成田国際空港を離着陸した航空機の飛行コースの情報は、離着陸した翌日の午後から1ヶ月の間、成田国際空港株式会社 茨城地域相談センターにおいて公開しています。

成田空港関連の航空機に関するお問い合わせ先
 成田国際空港株式会社 茨城地域相談センター
 茨城県河内町長竿188
 電話 0297-84-5017・5018
 0120-84-5013 (フリーダイヤル)
 (土日祝日、年末年始を除く、10時～16時)